卓越した技術者（現代の名工）（2014年度）

第1部門（金属材料製造の職業等）

大原 悟 新日鐵住金(株) 鹿島製鐵所

銑鉄の製造業務に従事し、高炉における銑鉄の生産性の向上、作業環境の改善、設備の安定稼働に大きく貢献している。炉内壁補修装置の改善に関しては、高炉内の条件解析や操業安定に必要な条件の策定、実機試験の調整を行い、装置の開発に成功した。また、専門的知識を必要とする操炉技術について、教育内容の整理および資料を作成し、実際に指導員として直接指導に携わるなど、後進の育成に貢献している。

安田 博文 新日鐵住金(株) 鹿島製鐵所

入社以来、製鋼工として精錬工程の業務に従事し、新技術の導入・開発及び生産能率の向上に貢献している。特に二次精錬工程においては、一鍋毎の成分・温度挙動を把握し溶鋼の状態を判断する技能に卓越し、鋼の極低硫化や脱水素法等、高純度鋼の量産製造に不可欠な方法を発明し、精錬中核技術の構築・発展に寄与した功績は大きい。また、今までの経験を活かし、現場・現物に基づいた設備技術・保全指導を行い、後進の育成に貢献している。

小菅 芳文 (株)神戸製鋼所 真岡製造所

アルミ板材製造の下工程にあたる精整工程に永年従事し、特に表面塗装設備の安定稼働、予防保全に卓越した技能を有している。その技能を活かし、他の設備で使用されているロールを塗装設備に導入することで、製品の不良率を大幅に削減するなど、品質改善、生産性の向上に大いに貢献した。また、若手技能者に自ら考え、行動することの重要性を説くことでその育成に努めており、技能伝承にも多大な功績を積んでいる。

片岡 武志 (株)神戸製鋼所 加古川製鉄所

近年の鋼材高級化要望に対応して溶鋼処理工程の重要性が増す中、入社以来一貫して製鋼工程の溶鋼処理（二次精錬）工程に従事してきた第一人者である。特にタイヤコード用鋼や自動車用高張力鋼のスラグ成分調整による脱硫方法に関する技能及びスラグ精錬と脱ガス工程を組み合わせることで軸受用鋼を安定生産するための技能に卓越し、これら的高级鋼を安定して量産化し供給できる操業技能を確立した。

熊野 幸雄 新日鐵住金(株) 広畑製鐵所

電磁鋼板開発の試験研究に関する技能に卓越し、新規装置開発及び実験精度向上を通じて、世界最高特性を備える鋼板の開発・量産化に大きく貢献している。加えて、試験の安全性向上にも大きく寄与している。また、後進の育成にも精力的に取り組み、分かり易い実験技術マニュアル書を作成し、実験技術の標準化や若手層への技能伝承を推進している。

藏座 昭生 (株)神戸製鋼所 加古川製鉄所

会社の分塊工場に39年以上従事し、他社を含め国内で2工場しかない分塊工場の作業員の中でも、半製品であるスラブの圧延、ガス切断、ホットス

カーブに関わる卓越した技能を有している。特に分塊圧延においては、圧延材別に適切なパススケジュールを自ら考案し、業界トップの製造コスト、製造効率での操業を実現した。

北 守 新日鐵住金(株) 大分製鐵所

高炉内に設置された約 500 箇所以上の膨大な温度、圧力検出端情報や炉内直接観察画像から、炉内の複雑な反応状態を的確に把握し、炉体冷却設備を適切に運転する卓越した知識と技能を有している。また、この技能を体系化することで炉体冷却部位毎の炉内温度に応じた水温管理の自動化や冷却機能を有する設備プロセスの改良に寄与するとともに、後進の育成に大いに貢献している。

寄能 輝彦 日新製鋼(株) 呉製鐵所

鋼の精錬理論を始めとした豊富な知識を基に、スラブ（鋼）の連続鑄造技能（不純物の混入を抑制し冷却過程における微細な割れ等を発生させることなく製造する技能）に卓越し、新連続鑄造設備の操業方策の確立やスラブの品質改善・生産性の向上に貢献した。現在は総作業長として、作業要領の作成・改定等、世代交代が急速に進む職場の技能維持・向上に大いに寄与している。

第4部門（一般機械器具組立・修理の職業等）

佐藤 和敏 (株)クボタ 京葉工場

ダクタイル鑄鉄管の製造設備保全業務に従事し、世界最大級の溶解能力を有するキューポラや、世界最長の 9m 鑄鉄管鑄造機をはじめとする基幹設備の製作・据付け及び改良保全を通じて習得した設備・機械保全技能に卓越しており、小管紛体塗装工場及び耐震管ラインの省人化対応設備改善を行い、生産性の向上に寄与した。また、職場を越えた工場全体の諸問題の解決を牽引できる人材として、後進技能者の指導・育成に尽力している。

東 伸二 新日鐵住金(株) 広畑製鐵所

めっき・電磁機械整備に永年従事し、機械設備保全に関する卓越した技能を有し、世界で唯一の板厚 9mm の溶融めっき鋼板製造工程（CGL）を含む製鐵設備の安定稼働に大きく貢献している。また、職場の若手技能者に対し自らの知識と技能の伝承を図るとともに、関連協力会社の技能向上など、業界内の後継者の育成に積極的に貢献している。

末吉 司 (株)神戸製鋼所 神戸製鐵所

製鐵設備の設備保全・建設に永年従事し、特に油圧設備における保全、トラブルシューティングにおいて卓越した技能を有している。さらに、その技能を生かし、トラブルが頻発していたアーク加熱設備の油圧設備の改善に取り組み、製鐵所の安定生産に大きく寄与した。また、関連会社の教育機関において油圧装置の講師を務めるなど後進の育成・指導にも貢献している。

第5部門（電気機械器具組立・修理及び電気作業関係の職業）

荒川 充義 新日鐵住金(株) 鹿島製鐵所

製鉄設備の電気計装機器の保守業務に従事し、特に高炉の電気機器の保守・プロセス制御改善に関する技能に卓越している。原料槽からコンベアへの原料排出方法の改善では、原料排出時のロジックを改善することで生産量の向上に貢献するとともに、操業自由度の向上にも大きく貢献した。また、高炉での製造プロセス等の視点を取り入れながら指導することで、手先の技術だけではなくロジックを熟知した部下の育成にも力を入れている。

松原 司 (株)神戸製鋼所 加古川製鉄所

製鋼工場、連铸工場の受配電設備・制御設備に関わる保全業務に永年従事し、各工場の高低圧受配電設備及び制御装置の保全履歴・データを自身の経験と卓越した診断技能により解析し、設備異常による重大事故や品質異常を未然に防止して、工場の安定稼働に大きく貢献している。また、後進者の良き模範となり、指導・育成にも貢献している。